

## (5) その他

### 1) 補習授業

工学部は令和元年度補習授業として下記のように実施した。

#### ・補習教育:

令和元年は、4月5日に、全新生生に対して物理・化学・数学の基礎学力テストを実施した。教員の負担軽減のためにマークシート方式とし、採点集計については外部委託した。成績については Moodle に入力し、学生個人が自らの成績を閲覧できるようにした。物理・化学・数学について、成績下位約 10%程度の学生や希望学生に対して補習授業を実施した。本年度は、4月17日に全体のガイダンスを行い、全体のスケジュールと補習授業の位置づけを説明し、講師の先生に失礼のないよう受講態度を高めるように学生指導を行った。物理の補習授業は4月24日～7月8日、化学は4月22日～7月10日、数学は4月25日～7月11日まで、各10回実施した。また、補習授業終了時に補習授業に対するアンケート調査を行った。時受講した学生は補講の内容や意義については、好意的な意見が多くあった。また、物理および化学については到達度試験を実施して補習授業の成果について検証を行った。その結果、一定の効果が得られていることが確認された。

#### ・基礎解析(留学生科目):

前学期と後学期でそれぞれ留学生を対象に開講した。ほぼマンツーマンに近い形で個々の学生の苦手とする数学科目、高校数学の復習から工学専門科目に用いる数学、特に「微分積分」「線形代数」の内容について、講師による丁寧な解説と問題演習の反復により、学生の理解の促進を図った。また、数学教育に加えて、プレゼンテーション演習を授業に組み入れることで、留学生の日本語コミュニケーション能力の向上も目指した。